

ワークライフバランスの推進

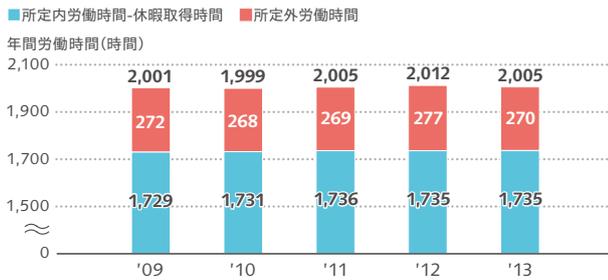
多様な従業員一人ひとりが能力を十分發揮できるよう、
ワークライフバランスに配慮して、働きやすい環境づくりに努めています。

労働時間の適正化

労使が協力して長時間労働の削減に取り組んでいます。
サービス残業の禁止や、早帰り促進のための全社完全消灯
ルールの徹底、ゆとり拡大や生産性向上のための業務見直
しなどを強化するとともに、労働時間の適正化に関する施
策や情報を「労働時間ハンドブック」にまとめ、周知を図っ
ています。

また、年次有給休暇の取得率向上に向けた「計画年休制度」
も導入しています。(2013年取得率51.8%)

年間総実労働時間



※ サントリーホールディングス(株)のみの数字です。

ワークスタイルの革新

サントリーグループでは、生産性高く働き、質の高い成果
を生み出し、新たな価値創造につなげることを、また多様な従
業員がいきいきと働けることを目的とし、ワークスタイル革
新に取り組んでいます。

2010年より、時間と場所の制約を取り払い、よりフレキ
シブルな働き方を目指してフレックス勤務やテレワーク勤
務※を拡大しています。また、営業活動でのスマートフォンの
活用など、ITを活用した新しい働き方も浸透しています。

2012年12月からは、さらに創造的な、サントリーグルー
プらしいワークスタイルに変革していくための取り組みとし
て、現場体感や本質を考え抜くための「プレミアムタイム」の
設定や、情報の洪水を防ぐための「メール発信ルール」の導
入などを実施しています。

さらに、2013年4月には、研究開発の新会社であるサント
リーグローバルイノベーションセンター(株)の発足に伴って
同社に裁量労働制を導入し、研究開発業務に適したワーク
スタイル革新に取り組んでいます。

※ テレワーク勤務：在宅勤務など、事業所外での勤務のこと

ワークライフバランスに配慮して従業員を支援

サントリーグループは、以前から法定以上の福利厚生制
度を多く設けるなど、生活と仕事のバランスを保ちながら
個々の事情に応じて働ける制度を拡充しています。

仕事と育児・介護の両立を支援

出産・育児支援については、育児休職や短時間・時差勤務
制度などを導入し、法定を上回る対象期間を設定しています。
2013年は、育児休職を新たに108名が活用し、取得率・復
職率はともに100%、年間で取得した人数は174名でした。
そのうち男性は35名が取得しました。これは、男性の育児休
職率向上を目的に育児休職を一部有給化した制度を利用
したものです。また、短時間・時差勤務制度は127名が活用
しています。

介護に関する制度も、2011年に休職の適用要件を明確
化するとともに、短時間・時差・フレックス勤務の適用要件
を緩和するなど、拡充を図っています。

育児・介護支援施策概要

